高周波凝固療法とはなんでしょうか？

高周波凝固治療とは、末梢神経の中で一番細いCファイバーという痛みを伝える神経繊維を選択的に、麻痺させる方法です。効果は一ヶ月から三ヶ月ほど持続する場合が多いですが、中には永続的に痛みの程度が減弱することもあります。写真のようにレントゲンで位置を確かめて、局所麻酔をかけ穿刺します。針電極の先端を目的の場所に持ってゆき、電気刺激をして、運動神経に影響のないことを確かめ、温度を70度に上げて120間維持します。通常は、左右で6箇所から8箇所凝固治療を行います。痛みや痺れに対する改善率は、約 80%です。患者さんに対する聞き取り調査を行い、治療前後でどの程度症状が改善したか、カルテに記載します。この記録を元に、患者さんの症状に合わせた治療計画を作成します。

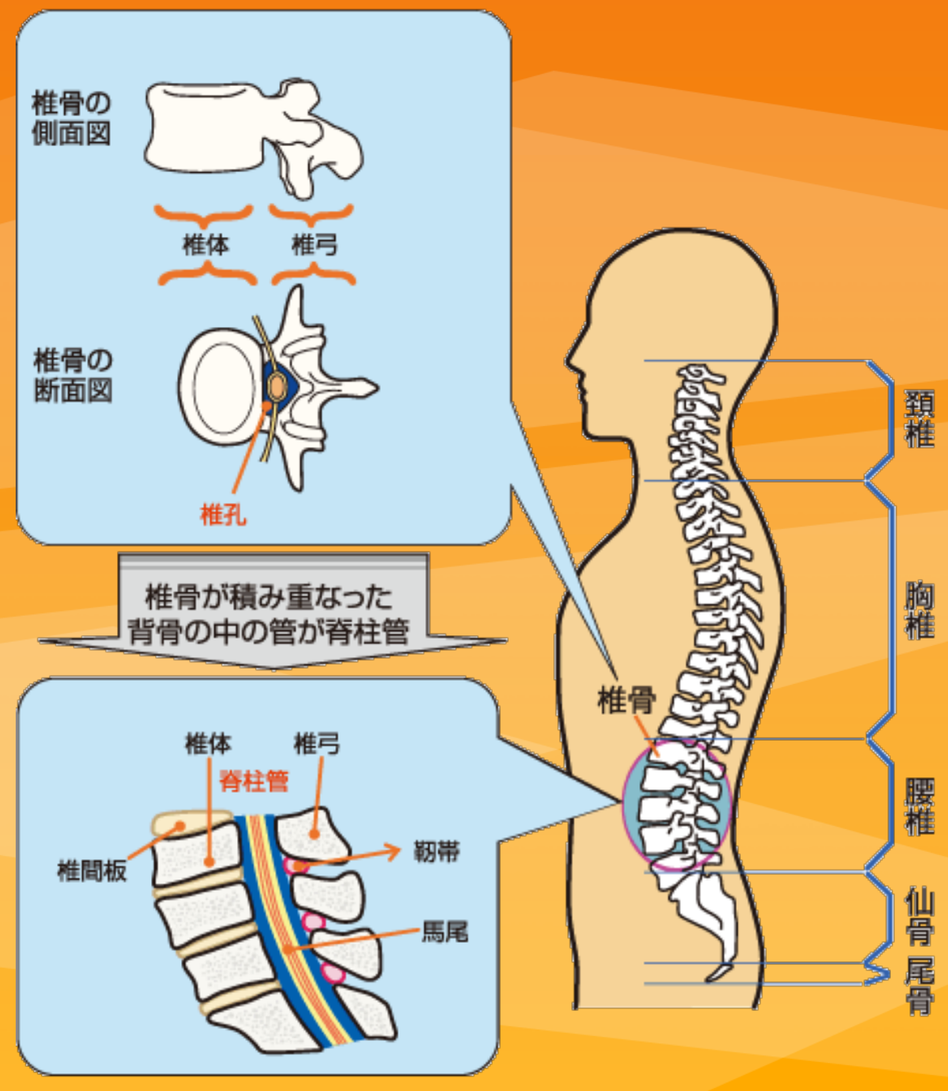
腰痛の発生原因としましては、右の図に示しますように、馬尾という神経が刺激されて発生します。そのうち椎間板ヘルニアや脊柱管狭窄症によって直接太い神経が障害される場合と椎間関節に分布する細い神経が障害される場合とがあります。前者では、手術が必要な場合もありますが、後者では手術的治療を必要とせず、リハビリなどの理学的治療や局所ブロックまたは高周波凝固療法が有効です。

金丸脳脊椎外科クリニック

[518-0001][三重県伊賀市佐那具町 804-1]

脊椎の構造

脊椎は、頚椎 7 個、胸椎12個、腰椎5個、仙骨1個、尾骨1個で構成されています。



腰椎の痛みが多い

運動神経や手足の触覚、痛覚、圧覚に影響のない椎間関節に分布する痛みの神経だけを麻痺させます

切らずに直す腰痛症

腰痛症の原因としては、運動不足による体幹の筋力低下や姿勢の悪さなどによることが多い傾向にあります。ほとんどのケースは腹筋を鍛えたり、ストレッチ運動などの運動療法によって改善します。私たちのクリニックでは、最新のウオーターベッド、牽引器、低周波、ホットパックなどの理学的療法とエアロバイク、エルゴメーター、平行棒訓練などの作業療法を行なっております。理学的治療では、腰痛症のみならず、頚椎症や四肢の関節の痛みの治療に対しても有効です。

私たちのクリニックのポリシーとしましては、まず運動などを生活習慣に取り入れていただき、理学的治療を同時に行います。痛みはひどい時には、鎮痛薬などの投与を行い、同時にウオーターベッド、牽引器、低周波、ホットパックなどの消炎鎮痛リハビリを行います。

このような治療を行なっても、痛みが引かない場合に、高周波凝固療法をおこなっております。